



平成25年4月期 第2四半期決算短信[日本基準](非連結)

平成24年11月29日

上場取引所 大

上場会社名 東和フードサービス株式会社

コード番号 3329 URL <http://www.towafood-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岸野 祐則

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部部長

(氏名) 中野 章男

四半期報告書提出予定日 平成24年12月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-5843-7666

平成24年12月21日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第2四半期の業績(平成24年5月1日～平成24年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第2四半期	4,896	△0.2	286	12.0	275	12.8	140	19.4
24年4月期第2四半期	4,908	0.9	256	34.2	244	38.5	117	664.3
1株当たり四半期純利益			潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
25年4月期第2四半期	円 銭 68.79		円 銭 —					
24年4月期第2四半期	円 銭 57.63		円 銭 —					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
25年4月期第2四半期	7,235		3,832		53.0	
24年4月期	7,527		3,712		49.3	

(参考) 自己資本 25年4月期第2四半期 3,832百万円 24年4月期 3,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年4月期	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 20.00
25年4月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年4月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年4月期の業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	10,200	1.9	595	6.9	580	7.0	290	37.9	142.28	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P5「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(注) 「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料5ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年4月期2Q	2,046,600 株	24年4月期	2,046,600 株
25年4月期2Q	8,490 株	24年4月期	8,490 株
25年4月期2Q	2,038,110 株	24年4月期2Q	2,038,110 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(3) 表示方法の変更	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 繼続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における外食業界は、消費税の増税など先行きに対する不安感から消費者の節約志向はさらに高まり、一部業態が繰り広げる低価格競争等の影響も受け、引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は「客数回復、ファンづくり、粗利の経営」を最重要経営課題として、コンセプトの「あつたら楽しい」、「手の届く贅沢」を具現化するため、以下の諸施策に取り組んでおります。

まず、平成24年8月に「池袋東武ビストロドナ」をオープンいたしました。気軽に立ち寄れる「町の洋食屋さん」をテーマに、箸で食べられるふっくらハンバーグや、ビーフシチュー、オムライスなどを提供しております。

また、高付加価値経営を念頭に個店経営を引き続き展開しております。「赤羽スパゲッティ食堂ドナ」では「1人でも楽しめるイタリアン」をコンセプトとしてテーマリニューアルを平成24年9月に行いました。明るい落ち着いた内装に一新し、リーズナブルな価格でカジュアルイタリアンを楽しめるよういたしました。

このほか、平成24年8月に「イオンモール川口前川ダッキーダック」、「港南台ダッキーダック」、「新橋駅前カフェトバコ」、9月に「有楽町アリスカフェ」、10月に「イオンレイクタウンダッキーダックキッチン」、「調布パルコダッキーダックキッチン」でリニューアルを実施いたしました。リニューアル店全店で売上等の面で成果が上がっております。

メニュー面では、1年を八季に分け、季節の変化にきめ細かく対応した季節感溢れるフェア、スパゲッティの3サイズ（M、Lは同価格、Sは100円お引きします）の提供などを引き続き行っております。

接客サービス面では、ありがとうコール運動を展開し、お客様から感謝されるような接客サービスに努めてまいりました。その成果として、日本ショッピングセンター協会主催のロールプレイングコンテスト東京大会優勝をはじめ、接客サービスで外部表彰を受けるケースが増えております。こうした接客サービスの向上がリピーター確保に繋がったこともあり、既存店売上は前年比1.4%増となりました。

以上の結果、第2四半期累計期間の売上高は48億96百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は2億86百万円（同12.0%増）、経常利益は2億75百万円（同12.8%増）、四半期純利益は1億40百万円（同19.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて1億13百万円減少し、25億76百万円となりました。これは、現金及び預金が54百万円、S C預け金が45百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1億78百万円減少し、46億58百万円となりました。これは、敷金が82百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて2億92百万円減少し、72億35百万円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて5億33百万円減少し、13億76百万円となりました。これは、1年内償還予定の社債が2億20百万円、未払金が1億33百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて1億20百万円増加し、20億26百万円となりました。これは、社債が2億45百万円増加したこと、長期借入金が1億48百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて4億12百万円減少し、34億2百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べて1億20百万円増加し、38億32百万円となりました。これは、利益剰余金が1億19百万円増加したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、20億38百万円で前事業年度末に比較して54百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況と主な内容は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億2百万円（前年同期は4億74百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純利益が2億51百万円、減価償却費が2億17百万円あった一方、法人税等の支払額が1億81百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、21百万円（前年同期は2億95百万円の収入）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が1億39百万円あった一方、敷金の回収による収入が69百万円、差入保証金の回収による収入が61百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2億35百万円（前年同期は5億54百万円の支出）となりました。これは主に、社債の償還による支出が2億75百万円、長期借入金の返済による支出が1億65百万円あった一方、社債の発行による収入が2億94百万円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年5月31日に公表いたしました、平成25年4月期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、当該変更による当第2四半期累計期間の影響額は軽微であります。

(3) 表示方法の変更

貸借対照表

従来、「売掛金」に含めて表示しておりました、ショッピングセンター及び駅ビル等に対する預け金等（ショッピングセンター及び駅ビル等にテナントとして出店している店舗の売上金額から相殺すべき賃借料、水道光熱費及び諸経費を差し引いた金額）を、当該取引の実態をより適切に反映させるため、第1四半期会計期間より「SC預け金」として表示しております。この表示方法の変更を反映させるために、前事業年度の貸借対照表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「売掛金」に表示していた319,517千円は、「SC預け金」246,083千円及び「売掛金」73,433千円として組替えております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,092,732	2,038,145
売掛金	73,433	54,210
S C預け金	246,083	200,767
商品及び製品	22,489	25,807
原材料及び貯蔵品	72,867	71,617
前払費用	100,666	103,940
繰延税金資産	56,698	56,698
その他	26,419	26,223
貸倒引当金	△518	△426
流動資産合計	2,690,873	2,576,986
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	941,086	880,830
工具、器具及び備品(純額)	120,615	102,468
土地	1,118,599	1,118,599
リース資産(純額)	329,085	374,250
その他(純額)	736	627
有形固定資産合計	2,510,124	2,476,776
無形固定資産	19,973	17,910
投資その他の資産		
長期前払費用	18,753	15,046
繰延税金資産	157,725	157,380
差入保証金	551,412	494,090
敷金	1,555,618	1,473,392
その他	23,395	24,074
貸倒引当金	△6	△4
投資その他の資産合計	2,306,898	2,163,980
固定資産合計	4,836,996	4,658,667
資産合計	7,527,869	7,235,654

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	233,121	219,434
1年内返済予定の長期借入金	324,160	306,810
1年内償還予定の社債	310,000	90,000
リース債務	120,751	131,356
未払金	407,489	273,623
未払賞与	107,290	109,986
未払費用	60,938	59,503
未払法人税等	191,913	123,370
未払消費税等	74,377	26,935
預り金	31,822	17,812
訴訟和解引当金	29,250	—
資産除去債務	13,972	14,585
リース資産減損勘定	2,633	1,051
その他	2,045	2,045
流動負債合計	1,909,768	1,376,515
固定負債		
社債	260,000	505,000
長期借入金	1,006,326	858,096
リース債務	251,834	286,491
退職給付引当金	272,653	261,179
資産除去債務	93,471	94,279
長期リース資産減損勘定	323	150
その他	20,984	20,984
固定負債合計	1,905,593	2,026,182
負債合計	3,815,361	3,402,698
純資産の部		
株主資本		
資本金	673,341	673,341
資本剰余金	683,009	683,009
利益剰余金	2,376,890	2,496,715
自己株式	△18,881	△18,881
株主資本合計	3,714,358	3,834,184
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,851	△1,228
評価・換算差額等合計	△1,851	△1,228
純資産合計	3,712,507	3,832,956
負債純資産合計	7,527,869	7,235,654

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
売上高	4,908,333	4,896,567
売上原価	1,333,965	1,293,037
売上総利益	3,574,367	3,603,529
販売費及び一般管理費	3,318,334	3,316,820
営業利益	256,032	286,709
営業外収益		
受取利息	293	283
受取配当金	293	343
受取家賃	11,810	11,910
その他	9,456	7,169
営業外収益合計	21,853	19,707
営業外費用		
支払利息	27,221	21,318
不動産賃貸原価	1,526	1,368
その他	4,996	8,431
営業外費用合計	33,745	31,118
経常利益	244,140	275,298
特別利益		
固定資産売却益	994	—
特別利益合計	994	—
特別損失		
固定資産除却損	5,407	10,356
店舗閉鎖損失	3,706	—
減損損失	6,007	13,771
特別損失合計	15,120	24,128
税引前四半期純利益	230,014	251,169
法人税等	112,564	110,963
四半期純利益	117,450	140,206

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	230,014	251,169
減価償却費	219,944	217,286
減損損失	6,007	13,771
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,192	△11,474
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△93
受取利息及び受取配当金	△586	△626
支払利息	27,221	21,318
社債発行費	—	5,076
固定資産売却損益(△は益)	△994	—
固定資産除却損	5,407	10,356
店舗閉鎖損失	3,706	—
売上債権の増減額(△は増加)	42,553	64,538
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,491	△2,068
前払費用の増減額(△は増加)	△1,093	△3,468
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,022	13,147
長期前払費用の増減額(△は増加)	△2,737	△974
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,760	△13,687
未払金の増減額(△は減少)	1,288	△74,754
未払賞与の増減額(△は減少)	18,539	2,695
未払費用の増減額(△は減少)	△9,141	△1,387
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△1,072	1,861
未払消費税等の増減額(△は減少)	24,314	△41,725
預り金の増減額(△は減少)	△11,227	△14,010
その他	1,144	△2,707
小計	564,186	434,244
利息及び配当金の受取額	498	486
利息の支払額	△26,270	△21,170
訴訟和解金の支払額	—	△29,250
災害損失の支払額	△4,589	—
法人税等の支払額	△59,554	△181,367
営業活動によるキャッシュ・フロー	474,270	202,943

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△151,669	△139,861
有形固定資産の売却による収入	487,214	—
固定資産の除却による支出	△1,555	△5,455
投資有価証券の取得による支出	△180	△400
貸付けによる支出	△1,650	—
貸付金の回収による収入	900	1,120
差入保証金の差入による支出	—	—
差入保証金の回収による収入	30,629	61,605
敷金の差入による支出	△19,232	△5,143
敷金の回収による収入	248	69,843
資産除去債務の履行による支出	△2,215	△3,240
店舗閉鎖に伴う支出	△7,025	—
長期預り敷金の返還による支出	△39,767	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	295,696	△21,531
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△744,150	△165,580
社債の発行による収入	—	294,923
社債の償還による支出	△40,000	△275,000
リース債務の返済による支出	△52,034	△70,021
配当金の支払額	△15,226	△20,321
その他	△3,248	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△554,659	△235,999
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	215,307	△54,586
現金及び現金同等物の期首残高	1,575,168	2,092,732
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,790,476	2,038,145

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。